

## 人間生物学コースの概要

人間生物学 医学系 コーディネーター

永田 恭介、照井 直人 (筑波大学 基礎医学系)

人間生物学コースによるこそ。

人間生物学コースの概要について紹介いたします。

生物学類の教育課程で専門の分野を学ぶ時期になると、学生諸君は生物学・基礎専攻あるいは3つのコースから成る生物学・応用専攻のいずれかを選択することになります。生物学類のホームページにあるとおり、「各自の興味、能力、目的意識にしたがって1年次の3学期にコースを選択」することになります。3つのコースとは、機能生物学コース、応用生物化学コース、人間生物学コースのことです。

人間生物学コースの教育を担当するのは、医学系(基礎医学系、臨床医学系、社会医学系)、体育系(体育科学系)の教官です。2・3年次には、医学系、体育系の教官により神経解剖学、寄生物学、細菌学、ウイルス学、人類学などの講義が開講されています。もちろん講義は生物学類の生物学(応用)として開講されていますので、コース以外のかたがたも履修されています。3年次の3学期には人体構造学などを含む人間生物学I、人間生物学II(旧人体解剖学)の授業科目が開講されています。これらの授業は、人間生物学コース専攻学生にだけ開講されています。

生物の1種であるヒトの正常と病態に焦点をあてて展

開される医学の研究と教育は、生物学の1つの応用分野としてとらえることもできます。医学領域では、クローン技術、再生医学、新興・再興感染症、高次脳機能など日々新聞紙上で取り上げられるようなヒトに密接に関連した分野の教育と研究が行われています。

人間生物学コースを専攻することになった学生諸君は、卒業研究を行う研究室として人間生物学コースの教育を担当する教官の研究室を選ぶことができます。昨年度より生物学類との話し合いで、窓口となる教官(付表の代表教官)を10名程度に絞りました。この代表教官は、全医学系研究グループを対象に行ったアンケートをもとに、人間生物学コース専攻学生を卒業研究生としての受け入れることを承諾くださっているほかの教官(同族教官)の代表者でもあります。このような設定にもとづき、研究室配属の際には、学生諸君は代表教官およびその同族教官とよく相談して研究室を決めてください。原則として、1指導教官あたり学生2名以内の配属を考えています。

具体的な各教官の研究内容については、次ページ以降に詳細が紹介されています。共に新たな医学研究の地平を拓くべく我々は諸君が戸をたたくことを待っています。

付表

代表教官	指導教官(代表教官あるいは同族教官)
山本雅之	山本雅之(6158)、坂内四郎(3282)、石井哲郎(3286)
高橋 智	高橋智(7516)、一條裕之(3126)、宮内卓(3076)
加藤光保	加藤光保(3159)、長田道夫(3165)、山田信博(3051)
永田恭介	永田恭介(3233)、人見重美(3479)、三輪正直(3272)
照井直人	照井直人(3499)、三輪佳宏(3276)、樋之津史郎(3203)
志賀 隆	志賀隆(6962)、尾崎繁(3499)、小島寛(3087)
梶 正幸	梶正幸(3249)、今川重彦(3124)、吉澤利弘(3204)
大前比呂思	大前比呂思(3464)、八神健一(3386)、渋谷彰(3053)
太田敏子	太田敏子(3454)、清水徹(3354)、谷中昭典(3124)
足立和隆	足立和隆(2682)

順不同、敬称略、カッコ内は内線電話番号